夕刊
磐城新聞
十二月二十一日發行
發行所 磐城新聞合資會社 電話五六四番
(日曜祭日翌日休刊)

一日一禪
○遣愛寺鐘欹枕聽
香爐峰雪撥簾看

潮聲俳座 其ノ三
伊坂香雨翁壽記念俳句 (次第不同)

潮聲伺人選

岡部二葉撰

五 客

春雨や軒端に馬の鞍をとく　逸郎
温泉の香にひたりて時雨聞く夜哉　橡堂
小夜時雨湯つぼの傾をたゝきけり　武門
時雨るゝや箱の兎のかさこそと　孤舟
暮雨すぎて赤井の端山夕映えぬ　石城

三光逆位

赤々と時雨るる籔の冬椿　晩霞
蓑虫の二つならんで時雨けり　紅箋
虫はみし鬼灯雨に幾日かな　吟花

加

縁の菊佳き名をもちて香るなり　二葉

(別に各自約二十句の佳作を選したれども略す。以下同じ)

本田中納言撰

五 客

香具山の神秘をつゝむ茂りかな　春夢
蕊解けば香に立つ冬の牡丹かな　東洋
海棠や名香薫る雨の庫裡　春夢
雨ほしきこども語りて扇かな　文狂
色も香も老てけたかし昔の梅　晩霞

三光逆位

風に舞ひ雨に落付く一葉哉　紅箋
縁の菊よき名をもちて香るなり　二葉
蘭の香に縁高く住む翁かな　江亭

片寄文狂撰

五 客

葉ざくらや雨の竹屋の夕わたし　雨蝶子
糊の香の立つ張ものや冬の蠅　晃村
串にして小鮒燒く香や竹の秋　其行
温泉の香にひたりて時雨聞く夜哉　松堂
陽炎や土の香の立つあらきはり　春夢

三光逆位

さすらひや御餘香仰ぐそゝろ寒　紅箋
遠蛙雨の手枕夢に入る　對山□
御遷りに木の香涼しき宮居哉　眞砂常

加

老樂や木香滿る寮の小春晴れ　文昇

加藤江亭撰

五 客

夕雨の野末に晴れて夏の月　東洋
香水や妹かひなにもすこしつつ　紅箋
山茶花にわびしき雨の幾日哉　晃村
温泉の宿の夢まどかなり春の雨　石越
雨華庵や梅に乾きし繪具皿　雨蝶子

三光

賜はりし御衣の餘香やそゝろ寒　紅箋
墨の香のこほるゝ梅の書院哉　東洋
菊の香に壽祝ふ賜杯かな　樂山人

加

香にいてゝ老せぬからうれし殘菊　江亭

勝見萬袋撰

五 客

山裾はほろ／＼灯る時雨かな　恩村
思ひ出す甘き乳の香や雛の聲　紅箋
菊の香や系圖正しき羽の闇　紅箋
香具山の神秘をつゝむ茂り哉　春夢
敍威にはゆるや雪の香炉峯　文狂

時代警語

○最善の人は過失より構造せらる、而して百人が九十九人迄は稍々惡かりしが爲に益々善良となるなり……(シエクスピア)
○惡人は大人となるべき性を有せず……(ラビルーエル)
○既往の害のみを顧る人は愚者なり……(ビライアント)
○愚者は己れを智となし智者は我が賢を知る……(シエクスピア)

12月22日

△三方ヶ原の戰 德川家康武田勢の爲に敗績を取りたる戰として有名なるものなり、家康大國の間に介在し屢々信玄と戰つて敗れたれども屈せず故に兵を用うる事巧に、後遂に海道第一と稱せらるゝに至る(元龜三)△小野篁歿す、平安朝時代に於て文章を以て聞ゆ、鎌足公の玄孫參議岑守の子也(仁壽二)△楠公の湊川の碑成る(元祿五)△印度總督の列車爆破さる、總督無事(昭和四)

講談 艶俠 女長兵衛
東京 斯波南叟 (魚崎潮畫)

(九四)

長『ヘエ結納と申しますと……』閑『其方に好い連合を世話致し度いと心得るのだ、直に話しを纏めて吉日であれば結納とする』長『それは大層お忙しい事で！』閑『善は急げと申す今日その事を思ひ立つたがゆゑ、斯く兩人打揃つて參つたのだ、貰ふか貰はぬか答えを聽かう』冗談でも云ふのでは無いかと思つたが何だか眞劍らしい、併し緣談の事であつて見れば、斷わばそれ迄長兵衛格別驚いた態度は見せない 長『浪人組の取締り立派な寺西先生の仰せ何れは妻を迎へねばならぬ身の上ながら、人には好き無好きもあり何せよ婚禮は人一代の大事……相手を伺ひまして如何樣ともお返事仕りませう』流石の長兵衛も自分のしッぽを押えに來たとは氣が付かなかつた 閑『はゝゝアシテ見ると妻女は必ず迎へられるな』長『如何にも其通り！』閑『然らば其緣先を申さう是れが當分家内を持たぬとか向ふ十年間は女を斷つた杯と言はれると折角の意氣込みも拍子抜けがするが何れは妻女を迎える身だ、緣先に依つてはと成ると話し甲斐があるな、ドレ最一ッ飮んで其先を言はふ』閑心手酌でグイ／＼飮み 閑『野崎寺西閑心月下氷人の役目を一ッ參らうか』槇『頂戴いたす』大層枕が高いが何處の女を持つて來たのかな其先を聽いて置いて斷らうと長兵衛思つてゐる、暫くして閑心 閑『仲立ちはまだ遣つた事が無い、是れが始めてだが甘く納めなくてはならぬ、長兵衛お前に世話致さうと云ふ女は外でも無い此處に居る野崎の娘お龜だ 氏素性も正しく器量とても十人並を優れ、至つて從順で孝心も深い、言ふ迄もなく孝心の深い女で無ければ夫に對しても貞實でないは知れた事、何一ッ缺けるところが無いから、斯く云ふ致す、長兵衛異論は無からうな』と云ふと傍から野崎槇之進 槇『アイヤ長兵衛殿何う云ふ縁か存せんが手前娘、其許を慕つてオチ／＼家にも居らぬ樣子、其心を察し今日寺西を頼んで斯く推參仕つた、御承知下さるか下さらぬか判らぬところへ、親が罷出るのは異なものでござるが、御存知の通り我等は短慮一徹……今日も今日とて娘に向ひ、此緣談は我等刀に掛けても叶へて遣ると立派に申聞かせた其の刀に掛けてもと言つたのは、其許は勝負してもと言ふのでは無い、腕前の違つてゐるものであるから、勝負すれば我等が必ず敗北と極まつてゐる、故に勝負は致さない、其許に殺して貰ふ我等が死だら不憫と思つて、或は娘を快よく迎へて呉れぬこともあるまい死を以てお頼みに參つた、二言と云はず御承知に預り度い』槇之進は血眼でございます、長兵衛驚いたり困つたり、斯んな事なら早く妻は決して迎へぬと斷れば好かつたと後悔したがそれは跡の祭り、此の權幕では厭が應の言つて居られない大變な連中が押込んで來たものだと、暫く差俯向いて考へて居る 閑『どうぢやナ長兵衛、今野崎の云つた通りの次第で、娘御も大きに惱んで居る、いけないと言へば野崎が死ぬ許りでない娘まで突き詰た心を起さぬとは限らぬ、夫れとも野崎の娘には何か不都合のところでもあると云ふのかな』と首へ眞綿を卷き始める、長兵衛……俺が本當の男だつたら、野崎の娘お龜は申分のない女、畏まつたと承知するところだがなア……と思つたが仕方がない 長『何う致してお娘御は野崎様のお仕込みだけ、却々お立派なもので手前などには……！』閑『立派ならそれで好い、拙者も誠に似合の夫婦と存じた宜しいだらうな、ウムと云へ／＼』サア弱つた長兵衛聊かうろたへた。長『夫はチト……』閑『チトも何もない、男らしく承知しろ』

ラヂオ
…廿二日(火曜)… 仙臺JOHK

△前七、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇 料理獻立(猪口物宇治和へ)小野寺嘉祝 日用品値段(雜穀るい)
△一〇、三〇 家庭講座(正月の盛花實習)佐藤一龜
△正午 A 時報
△後〇、〇五B 絃樂四重奏 東儀クワルテット
△〇、四〇A ニュース 氣象通報 告知事項
△三、四〇A 氣象通報
△四、〇〇A ニュース
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇 (子供の時間) クリスマスの讃美歌とその説明 説明…石川進 仙臺聖歌のつどひ
△六、三〇A 家庭電氣講座(住み良い家…電氣配線上の注意と電燈の明るさ) 工學博士伊藤奎二
△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項
△七、三〇A 滿蒙事情特別講座(滿蒙の資源)內閣資源局長官宇佐美圓遊
△八、〇〇 獨唱と合唱 在仙外人唱歌團
△八、三〇A ラヂオ風景(工場地帶) 大東三郎作 出演…ラヂオプレイ・シアタア
△九、四〇A 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

廣告

七五三祝の御贈答用品
可愛らしいお子様方のお祝着と
御贈答にお使ひ心地のよい品々
平四 ツルヤ 電一四〇

時計職見習生募集 十四五才位詳細面談要證人
平町 精幸堂

前田醫院
院長 前田清美
植田町電話一二四

藤沼醫院
平町紺屋町電五〇七

歲末奉仕大賣出し
●平素の御愛顧に酬ゆる謝恩奉仕大特價提供●
十九日より二十五日迄
市價の昂騰に逆行する奉仕的最安値で豊富な在庫品を破格提供いたします。
永久に殘る最安値のレコードです。この際御利用御用命願ます。
あらゆる百貨を具へた
中野洋品店 平町二丁目電五三番
中野名物 十錢一均賣場

今度の御調髮は是非どうぞ……！
明るい感じ清々しく電氣バリカンの爽快な刈込み………
氣持よいシャンプー、電熱アイロン
電氣マッサーヂの上品な仕上げ…
キット皆様の御氣に召すで御座いませう………
是非一度御光來御調髮の程お待ち申上げます。
平町田町 石崎理髮店 大床號 電話一八八

七五三にぜひ
大人になつてから小供時代の姿を見たいのは人情です。再び來らぬ幼少時代の可愛い御寫眞を撮つて保存してやるのは親さん方の御情けと思ひ升。ぜひ御宮參りの御歸りがけに御立寄り下さいまし。御祝ひの爲に當館も特に勉強いたします。
ライト寫眞館 平町才槌小路一番地(田町大通) 電話五三五番

齒科醫 開業廣告
平町鍛治町 吉田屋呉服店西隣り
東京齒科醫學士 中村文一
中村齒科醫院
十二月十五日より口腔外科齒科一般の治療に從事致します。

店頭 均一賣出し
十錢均一の山
ゼヒ御來店を……
マツモトヤ 電話二一四番

民謠平小唄懸賞募集
高雅にして趣味に富み平町を平易に紹介し得るもの

一、入選賞與
一等(一名)五圓、二等(一名)三圓
三等(一名)二圓、四等(一名)一圓
五等(一名)五十錢
選外佳作若干名ニ薄謝ヲ呈ス
二、審査員 追テ發表ス
三、募集締切 十二月末日
四、應募者ハ平第一小學校內又ハ本社懸賞募集係へ申込ム事
五、注意 一、應募原稿ハ平町教育會ノ版權トス 入選佳作ハ加除訂正スル事アルベシ。

夜間診療
胃腸 十二指腸 小兒病 專門 内科部
花柳 淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院
(平南町電話一〇七番)

度量衡。計量器。
吸入用酸素。
酸素吸入器。
關內藥局 電話四〇番

七五三帽子均一廉賣

均一
10錢
20錢
30錢
50錢
70錢
95錢
均一

廿二日迄
モリタヤ洋品店
買よき店平5丁目電353

月曜論壇

平町商人氣質

積極內閣の出現が永い間の萎縮氣分を根底から掃拭し、遽然としてあらゆる方面に一脈の活氣を點じつゝある事は、宛然低迷久しかりし陰慘な暗雲が四散して炳乎たる天日を仰ぎ見るの快心事たるを失はない。而も之れに誘發された諸物資の賣れ行き增加と價格の昂騰は、地方の中小商人に迄その恩惠を均霑せしめ當業者の眉宇に喜色掩ふべからざるものある事また近來の一瑞象と云ふべきであるが此際に於ける急激なる物價の釣り上げが果して妥當なりや否其間些か疑義を挿まざるを得ないものがある。

×

眇たる小紙の領域を超えて經濟學の假壁を遣ふでもないが——所謂物價は之を簡單卒直に云ふなれば『在庫品全部で貨幣の總高を割つた商』であらねばならぬ以上、假令將來に於て大に可能性ありと雖、未だ以て現實に通貨の膨張せざる今日に在つて、所謂指數の根振を缺く物價の釣り上げはツンてばカンの商機を度外する痴言との譏りはあるかも知れぬが純理論から云つて許容出來ぬことになりはせぬか。

×

尤も曩年經濟界の急變當時多數在庫品を擁して物價の暴落に殃された商人が損失の舊痾を癒す爲め當然の手段たるべきを以て、少くとも利によつて生くる商人が之の場合若干の値上げを斷行するに不當呼ばはりは勿論苛酷ではあるが要は需要者に容認さるゝ程度のものであつて欲しいと思ふ。

×

要するに物價の釣り上げは民衆に於ける購買力の增加を前提としたものであらねばならない。石城の炭礦地帶が急轉してトランスバールの金礦にでもならぬ限り、差し當り吾人の購買力が依然たる卽今の物價騰貴は、天笠の火事が唐の池魚を殃すると云ふの外無く吾人民衆の到底堪へ得ざる處である。借問す平町商人氣質是非何れぞ。

本社の慰問に對する謝狀一束

滿洲から

戰友の仇思ひ知れと傷き乍ら夢中で突進

其の日の奮鬪振りを語る　三坂村出身田子忠治君

事件突發以來奉天城內に長春、鄭家屯と移動致し警備致して居りました。或る時は馬賊と交戰致し活動致して居りましたが十一月四日鄭家屯に向つて我が○○聯隊の○○中隊は大興に向つて

出動命令 下り激戰であつた大興戰に參加致しました、六日午前十一時には敵を擊退して完全に占領しましたが自分には何等變りはありませんでしたが犧牲者を出したのは誠に殘念であります、入營當時より同中隊同斑長殿の敎育を受けた江名町出身の中田上等兵酷寒の滿洲の原野にて活動をして居り乍らも勇敢であつた

田中上等 兵の姿を忘れる事は出來ません、大興戰には負傷者もありましたが今では皆全快して戰地に向はれる樣になりました。十八日の昂々溪附近の戰にも參加致しましたが十七日の晚は零下三十五度の寒さでありました。今の時は死傷者の仇を取る時であると敵前八百米の地點に

歩哨こして 立つて居りました、敵彈はカナリヤの鳴く聲の樣なりで飛び來り砲彈は右左に落ちたが御國に捧げた体は覺悟の上少しも怖れる處はない。犧牲者の仇を取るのは今の時だ、精神の續く限り奮鬪しようと戰友と語つて居た其の內攻擊の時間も近づき重野山砲が十間餘で射擊してから步兵の攻擊であつた

敵彈は雨、霰の樣に右左に來て前進出來ぬ程であつた、自分は輕傷であつたが右腿を負傷し夢中でわからず中隊と共に前進し敵を擊退させ占領後追擊に移る時一寸血の流れるのを見付けたのであつたが看護兵の手にて入院もせず全快しましたから御休心下さい、追擊して齊々哈爾に入城し一週間程警備をして居り○○旅團と交代を致し

無事奉天 に歸營して目下城內の警備に勤務して居ります。自分等の体は御國に捧げた体で死ぬのは覺悟で居るのです、精神の續く限り御國の爲に奮鬪致す覺悟で居りますから御休心下さい。先は走り書にて御禮旁々御詫申上ます。時節柄皆々樣の御健康を酷寒の滿洲から祈り上げます。

郡出身者の意氣　何れも天を衝く

內鄉出身　遠藤正直君

——日々訪れる貴紙に依り吾等數名の石城出身の兵士等は懷しい故鄉の便りを手にして慰められて居ります皆々樣の御援助に依り意氣益旺盛にして軍務に勵んで居りますから御休心下さい　去る九月十八日午後十時異變な召集喇叭に夢破られ奉天の城東大營北大營迫擊、工廠等の攻擊に參加致し其後奉天警備を○○部隊に依し長春に至り第○聯隊の難戰地とせし南嶺寬城子等の戰跡見學も實に見る可きものがありました。再び我が○○聯隊に命有り軍旗と共に鄭家屯に進められ當地は出沒常なき匪賊の警備に一同は緊張致し警備の中につきましたが一果樹の戰鬪にて我が○○聯隊最初の戰死者として栗原大尉外二名の戰死者を送つた事は誠に殘念の至りでした、鄭家屯滯在も一月足らずにして江橋の戰鬪倘も昂々溪の戰鬪に參加致し唯今はチチハルにてなつかしい御報を手にする事が出來ました。昂々溪の戰鬪は事變始まつて以來の大戰にして友軍の死傷者もかなり多數にのぼり殊に零下三十七八度の極寒にて凍傷にかかれるもの大半を示しました。然し郡部出身者も益々意氣旺盛にして次の戰鬪の準備にいそしんで居りますから御休心下さい、其他記す可き事數有りますが後便として戰況の大略を記し御禮まで申上ます。草々

寒風に銘旗悲しく　佐川一等兵の町葬

昨日小名濱町の盛儀

北滿シンブトンの激戰で名譽の戰死を遂げた小名濱町出身騎兵一等兵佐川泰雄君の町葬は昨二十日午後一時から同町小學校庭に於て行はれたが各種團体初め町民其他列席者約二千餘名會葬し靈前に荒木陸軍大臣、多門第二師團長初め各種團体から贈られた花輪二十數個が飾り式は鈴木町長の開辭に初まり各種團体代表の弔詞弔電朗讀あり午後三時十分頃長蛇の行列によつて同町字上横町自生院に到着午後四時頃感激のうちに英靈は先塋の傍ら永久の眠に就いた

○○○○○

宮で六十八圓

內鄉村大字宮では六十八圓五十五錢を二十日同村役場へ

第二校の凍傷　三百七十餘名

平第二小學校では毎冬の凍傷患者續出に鑑み各種の豫防に腐心してゐるが今年も左記の如く既に三百七十名に及び殊に高等學年の如きは掃除其他水仕事の關係上約半數餘が患者と云ふ有樣で三學期に入ると共に益々增加するものと今後を懸念されてゐる

一年一五、二年四七、三年四六、五年五五、六年七九、高一年五六、高二年三四

巖谷小波氏揮毫と講演

頽たれた洒脫な俳諧　聽衆は快辯に醉ふ

お伽の小父さん巖谷小波氏は地方有志の招聘に應じ昨二十日午前九時から平町住吉屋本店に於て俳諧の揮毫會を催し午後一時から內鄉村昭和座で磐城炭礦從業員の爲講演を試み今二十一日は磐中、磐女、平第一、二、五年以上各校生徒の爲前後三回の講演を試みた

忘年撞球會

昨日田町球場で

平町田町平撞球場では二十日午前十時から忘年撞球大會を開催したが左の如く入賞した

一等山野邊義政、二等松永憲一、三等佐川傳之助、四等佐藤金治、五等鷲廣治、カブ戰一等井坂久吉

各地情痴ニュース

△娼妓行倒れ。神戸市葺合區上筒井岡西學院內原田神社境內に行倒れ苦悶中の女があるを葺合署員が發見附近の高橋病院に擔ぎ込んだが同人は多量の睡眠劑を嚥下してゐるらしく懷中の遺書により福原春龜樓娼妓成駒事伊藤ハツ(二二)と判明したが同人には愛人があり當日も會ひたさ見たさに男の家の附近を徘徊せんとしたが會へぬので自殺を計つたのだと

△妻君取違ひ。愛知縣愛知郡下の一色町南五六番地魚行商人中島兼松(三三)は市內南區濱町沖仲仕下虎吉內緣の妻杉山つよ(三六)といふ仲となり本年二月三者協議の上虎吉はつよを兼松に讓る事にしたが其後返せ返さぬで論爭絕えず風雲急を告げてゐた處果して二人は出刃庖丁で大亂鬪をやり双方共重傷を負ふた

△美人局失敗。岐阜縣西濃某中學武道敎諭山本仙逸(三八)假名は岐阜市驛前若松旅館に寄泊し一夕ヱロ氣分を市內某料亭で味はひ宿に歸らんとする際同亭酌婦八重子(三六)は十二時頃迄つき合ませうと若松屋に送り込み私も是非泊めてと別室に床をのべさせ就寢中三十男が乘り込んで來。姦通だと脅迫したが先生武道の用具をつけ馬鹿ー!と一喝した處件の男眞つ蒼になつて逃走

△妻を捨てて。尼ヶ崎市外小田村汐江百合野實(三七)は先般日本電力會社を解雇され手當金四百圓を支給された處から豫てダンスを敎へ懇意になつてゐた近所の海水龍太郎妻の妹井上みつる(二三)と駈落してしまつた百合野にはきぬ子といふ妻があり平素素行はいゝ方でなかつたと

△姦夫の成敗。京都市上京區菱屋町一條上る生魚商井上梅吉方二階森本乙藏(三八)が外出先より歸宅すると突然井上が『畜生!』と叫んで中庭にあつた四尺餘の棍棒で森本の頭部に一擊を加へ更に刄渡り四寸の銳利な出刃で滅多斬りにし瀕死の重傷を負はせた。原因は井上の妻榮(三八)と被害者の間に不倫な關係があるのが發覺した爲である。

平吳服商組合が現價維持の大賣出し

福引付で昨日から開始

平吳服商組合では積極內閣の出現に因る物價昂騰を見越し顧客平素の愛顧に酬ゆる爲商品は一切値上げせず昨二十日より福引付の奉仕的聯合賣出しを開始したが大人氣を呼んでゐる、初日の福運者次の如し

(特等)—內鄉村岩間かめ(一等)勿來町軍司ふく、南町織田自轉車店、錦村田村田四郎、長塚吉田政吉、好間高木ハナ、富岡三瓶千代、(二等)—入山高橋庄之助、川前齋藤、神谷鈴木ふさ、高久箱崎竹一郎、綴渡邊、勿來小野かう、好間吉井、平蓮沼淸夫、鹿島黑木義昭、好間鈴木常吉、平よねや、平町大柴啓二、平關原硝子店、大利片寄朝吉

師走の悲劇!

老農の自殺未遂

剃刀で割腹生命危篤

大浦村字長友農渡邊治三郎(五〇)は十九日午後十一時頃自宅に於て銳利な剃刀で割腹自殺を企て苦悶中を家人が發見直に四倉町の木村醫師を迎へ應急手當を受けたるも大腸露出し生命危篤である。原因は生活難を苦にしたらしい因に同人は日露戰役に從軍した勇士である

節季の失業勞働者に降つて湧いた大仕事

水害復舊工事開始

平土木監督所では今縣會を通過した水害復舊工事中縣工事磐崎村大字柿ノ平地內藤原川、泉村大字瀧尻、松原、縣補助川部村大字沼邊地內用水堤、植田町澁川、町村補助平外二ヶ村、水害豫防組合新川筋外二十二ヶ所を明春三月末日竣工の豫定で一兩日中一齊に着工しアブレ通しの失業者を喜ばす事となつた

學校專門に盜んだ納豆賣りの若僧

記憶してる丈で六十七件　驚くべき四年越しの犯行

昨二十日午後二時頃平町長橋町地內を徘徊する擧動不審の男を平署員が連行取調べた所右は內鄉村大字御廐納豆行商似鳥明市(一七)假名で三年程前から平町各小學校、中等學校を初め附近各學校から靴其他手當り次第に窃取し之を農家に密賣して居た事を自白したが犯件數は記憶してゐる丈でも六十七件の多數に上り金額も可なりの額らしいと

珠算講習會

星伊策氏の珠算講習會は二十九日より二日間平第一小學校に於て開催されるが町村吏員等約百名に達する見込

胡瓜茄子促成栽培

植田町で試作

植田町の一部農家では過般來農會指導の下に約百框の溫床に胡瓜の促成栽培を始めたが既に發芽したものは二三日中に第一回の假植をなし四月上旬頃定植して翌月上旬頃から採取出來る見込であるが更に茄子も同樣促栽し出荷組合を設けて大々的に獎勵する事になつた純益約七八百圓と觀られて居る

三區小學校長會議

第三區小學校長會は十九日午前十時から平第二小學校に開催したが楢葉校が缺席した丈けで十五校出席した兒童より靑森、北海道凶作義捐金募集の件、及縣敎育新聞社長作山美八氏を招聘し各校で通俗講演會開催の件を協議決定した

貧困者へ白米一俵

淸野會長の美擧

平產婆看護婦學校長淸野キヨ氏は今二十一日平町に於ける年末貧困者の爲にと白米一俵を其筋に寄附した

永野氏息長逝

辯護士永野柳造氏二男義夫君は急性肺炎に冒され東京五反田病院で療養中十八日朝長逝明二十二日午後二時から三時迄播槌小路の自宅に於て告別式を執行すると、行年二十五歲早大商科在學中で前途を囑目されてゐた。悼哉

狂犬の疑あり

其筋で檢診中

平町磐城共濟病院長石山謙郎同町田町野崎喜八郎兩氏の飼犬が最近狂犬病の疑ある旨屆出に依り平署土屋技手が檢診中

○○○伊藤氏へ

川柳揭載紙郵送すべきに付伊藤五郎氏同とく子氏住所御報乞ふ

紺屋町凶作義捐金

平町紺屋町の靑森縣凶作救濟義捐金五圓は今二十一日平町役場經由發送

郡產業組合打合會

郡產業組合では今二十一日午前十時から平各種團体事務所樓上で年末年始取扱事務打合會を開催した

平町年末町會

平町會は二十六日頃開催六年度追加豫算並に敎員退職手當金其他數項を附議すると

○○○○○各區長夜警協議

平區長會は明二十二日午前十時から町會議事堂に於て開催し五年度夜警實施に關する件を附議すると

懸賞川柳發表

題『無盡趣味普及』

佳句　八十諷（その二）（記念品送呈）

無盡でも積む氣になれと親爺云ひ（畫）　平　ＹＹ生

偶然に來る運は無い心掛け　米澤　鐵之坊

ウインドの前で無盡の日を語り　平　文志樓

銀行が何だと無盡當てた晚　同　同

千圓の無盡隣りの笑ひ聲　米澤　梅月

まじないの鐵瓶の蓋おつことし　平　文志樓

無盡から電話とゞろく胸で聞き　同　同

無盡へも入つて母を喜ばせ　棚倉　有頂天

信用がつくから無盡積み給へ　同　同

掛金を生む女房の手內職　同　同

女房の名で二百圓積むと極め　同　同

それ見ろと親爺は勸めた甲斐を云ひ（畫）　米澤　鐵の坊

賴母しく家主日掛を見て歸り　棚倉　有頂天

新世帶もう積み溜めた夢を見る　同　同

女房の智慧で無盡を先づ掛ける　同　同

君もか僕もだ無盡の時代だね　同　同

不景氣へ無盡を强く働かせ　同　同

借金のなやみ無盡に助けられ　山形　市太郎

包みきれない笑顏と無盡金　平　文志樓

武男義夫儀急性肺炎にて東京五反田病院に於て療養中の處拾貳月拾八日午前六時四拾九分死去仕候に付き此段御通知に代へ謹告仕候也

追而貳拾貳日午後貳時より參時迄自宅に於て告別式執行途中葬列を廢し平町字古鍛冶町墓地に埋葬仕候也

昭和六年拾貳月貳拾日

石城郡平町字播槌小路二〇番地

父　永野柳造

外親戚一同